



～ほけんだより7月号～



令和8年7月1日
長野こども学園

「ささの葉さらさら♪」と子どもたちの元気な歌声が響く季節になりました。子どもたちの願い事が書かれた短冊と笹飾りが揺れています。短冊に書かれた可愛らしい願い事を見ていると、とても微笑ましい気持ちになりますね。これから暑さが増すにつれて、体力の消耗から免疫力が下がりやすくなり、夏の感染症にかかりやすくなります。体調の変化に気を配りながら元気に夏を乗り切りましょう。

乳幼児に多い夏風邪の感染症

① 手足口病

エンテロウイルスやコクサッキーウイルスによって引き起こされる感染症です。症状として手のひら、足の(裏や甲)、口の中に発疹が現われることが多いです。お尻や膝、肘などでもできることがあります。通常は熱がなかったり、微熱など軽症で済みますが、口の中に発疹ができると痛みがあり、普段の食事がとりにくいので、ゆっくりと静養してから登園しましょう。まれに脳炎や心筋炎、髄膜炎やけいれんなどが生じることもあります。

② ヘルパンギーナ

エンテロウイルスやコクサッキーウイルスによって引き起こされる感染症です。症状として発熱、喉や口の中に水疱が出来て痛むことがあります。まれに熱性けいれん、髄膜炎や心筋炎などが生じることがあります。

③ アデノウイルス感染症

1. 咽頭結膜熱(プール熱)や呼吸器感染症

発熱、喉の腫れ(扁桃炎)や痛み、喉の炎症(咽頭炎)、結膜炎など引き起こします。重症化した時は、気管支炎や肺炎、けいれんなどにつながるおそれがあります。

2. 流行性角結膜炎

目の充血や目やになどの結膜炎の症状を引き起こします。

3. 胃腸炎

下痢や軟便、嘔吐などの症状を引き起こします。

4. 出血性膀胱炎

血尿、排尿痛や残尿感など引き起こします。

*** 感染を拡げないように、石鹸で丁寧に手洗いをしましょう。
脱水や重症化予防の為、こまめに水分補給をしたり、症状があれば熱がなくてもゆっくりと静養しましょう。**

蚊に刺されると、腫れるのはなぜ？

蚊は、血液を吸う時に口から唾液を私たちの体に注入します。この唾液の成分に、免疫が過剰に反応して腫れやかゆみを起こします。ただ蚊に刺されたことがなかったり、アトピーがある乳幼児の子どもは、体の中でアレルギー反応を起こし、大きく腫れてしまいます。登園前に薬を塗ったり、ひどい時は、受診しましょう。また、園でムヒパッチを貼るのは、誤飲するおそれがありますのでご遠慮ください。



6月の感染者数

- | | |
|-----------------------|------|
| ① 感染性胃腸炎(ノロウイルスも含む) | ..7名 |
| ② アデノウイルス (アデノ胃腸炎も含む) | ..2名 |
| ③ 手足口病(疑いも含む) | ..2名 |
| ④ りんご病 | ..1名 |
| ⑤ 突発性発疹 | ..1名 |

すべての検診が終了しました。

検診の結果は、その都度お知らせしていますが、再受診や尿検査の結果がまだのお子様は、速やかに受診し結果をお知らせください。